

野菜栽培推進実証展示ほ検討会が開催される

【平成 29 年 3 月 24 日掲載】

平成 29 年 3 月 14 日、広島県園芸振興協会（事務局：全農ひろしま、会員：県内 13 J A グループ、賛助会員：県、市町及び青果会社等）が主催する平成 28 年度野菜栽培推進実証展示ほ検討会が農業技術センター講堂で開催され、会員等約 60 名が参集しました。

本検討会では、今年度、県内の野菜 11 品目を対象に実施された計 23 の技術実証展示ほの成果及び課題が検討されました。

紹介された実証展示ほの中では、J A と各指導所で連携し、栽培環境条件の異なる地域で同一の実証が行われた「生分解性マルチ（白黒ダブル）の使用による秋作キャベツの生産安定に向けた取り組み」や農業技術センターと普及指導員が連携して取り組んでいる「LED 光による防蛾照明技術の現地適応確認」、
「アスパラガス産地振興で課題となる改植方法の確立に向けた取り組み」及び「ほうれんそうや白ねぎでの機械化に関する取り組み」の報告があり、活発な質疑応答やアドバイスが行われました。

また、農業技術センター研究員からも、関連企業と共同開発した自動調光技術の紹介もありました。

各関係機関からの様々な報告や検討で、会員等の技術情報の共有が図られ、次年度の野菜栽培推進に活かしていく予定です。



【事例報告の様子】



【全体検討の様子】

情報提供元

西部農業技術指導所